

県外視察

群馬県渋川市・川場村

～議員視察研修～

町議会の総務経済常任委員会と民生文教常任委員会の二常任委員会は、合同による議員視察を10月16日から17日にかけて実施しました。視察先の群馬県渋川市では小中学校給食費完全無料化に関する状況について学びました。また、同県渋川市にある(株)関越物産・群馬工場の見学と同県利根郡川場村にある道の駅「川場田園プラザ」を視察しました。

1日目は、渋川市の小中学校給食費完全無料化について研修しました。渋川市では、「渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の一つである「結婚・出産・子育ての環境づくり」における施策として、平成28年4月1日から小中学校児童生徒の学校給食費の約30%を公費負担にするとともに、第3子以降の給食費の全額公費負担を開始しました。その後、平成29年4月1日からは、更に子育て支援の充実を進め、若い世代が定住できるよう、総合的な財源の調整を図った中で全額公費負担が始まりました。

学校給食費の完全無料化を実施したことにより、保護者からは経済的に助かるとの声が上がり、また若い世代の定住や人口増加を図るためには、様々な取り組みが連携し継続的に実施することが必要であるとのことでした。課題としては、恒久的な財源の確保・食物アレルギーの児童生徒への対応・渋川市立の小中学校以外へ通学している児童生徒への対応であり、このことについて説明をいただきました。

2日目は、渋川市の(株)関越物産・群馬工場で、製品のこんにやくが出来るまでのプロモーションビデオの視聴と工場見学をさせていただきました。横芝光町出身の社長にご案内をいただき、独創的製法の苦労話や製造工程等の説明を伺い、大変に勉強になりました。

次に、川場村の道の駅「川場田園プラザ」を視察しました。この施設は、国土交通省全国モデル「道の駅」に選定され、全国の道の駅で

はじめて「観光庁長官表彰」に輝き川場村を代表するスポットになっています。広大なエリアの中には、レストランや食事処が多く、直売所では地元野菜の販売もされていました。川場村の人口は約3,500人で、総面積85.25km²のうち83%が山林で占められています。川場村の人口は約3,500人で、総面積85.25km²のうち83%が山林で占められています。川場村の人口は約3,500人で、総面積85.25km²のうち83%が山林で占められています。川場村の人口は約3,500人で、総面積85.25km²のうち83%が山林で占められています。

2日間の視察は、大変に有意義で、町の今後に大いに参考となる内容でした。



視察地：群馬県渋川市



道の駅「川場田園プラザ」

